

日本教育政策学会・3月公開研究会のお知らせ

課題研究プロジェクトの取り組みとして、下記の要領で公開研究会を開催します。首長主導型の政策なども自治体によって多様ではありますが、同時に構造改革は都市と地方で地続き（貧困が都市と地方に拡がるとともに、都市と地方に収奪関係が存在している）となって進行しています。本公開研究会では、教育現場で起こっている実態からこうした教育政策をめぐる動向を分析します。

前半は、「新政権の発足と構造改革」と題して、姉崎洋一会員より公民館の首長部局化など社会教育領域における動向を、中嶋哲彦会員からは、自民党教育再生実行本部の中間取りまとめについて報告いただく予定です。

後半は、新政権の発足を意識しながら、この間続いてきた構造改革下での自治体動向について、廣田健会員より北海道の動向を報告していただき議論する予定です。

○テーマ

構造改革下の自治体教育政策をめぐる動向 —新政権発足の影響をさぐる—

○報告

課題研究の経過

新政権の発足と構造改革

姉崎洋一（北海道大学）

中嶋哲彦（名古屋大学）

自治体の動向

北海道 廣田 健（北海道教育大学）

指定討論 武者一弘（信州大学）

○日時

2013年3月16日土曜 13:30-16:30

○場所

明治大学駿河台キャンパス研究棟予定

（会場は決定次第、ハガキ及び本学会ウェブサイト <http://www.jasep.jp> でお知らせいたします）

※指定討論では、北海道と長野との比較の観点から、コメントがあります。

※公開研究会終了後にプロジェクトメンバー会議（17:00-19:00）も予定しています。ここでは、各地の自治体教育政策の動向とメンバーの研究についての交流、プロジェクト二年次の予定などについての意見交流をおこないます。

※事前の参加申し込みは不要です。本公開研究会についてのお問い合わせなどは、荒井文昭常任理事（首都大学東京）、arai-fumiaki@tmu.ac.jp までお願いします。